

第9回 シンポジウム

集まれ若者！語ろう！暮らしやすい社会 Part4

～未来を描こう～

今、障害のある人ない人に関わらず、生きづらさを感じている若者が多くいます。障害のある10代、20代のシンポジストと今の生活や学校教育について語り合い、共に生きる未来をみんなで考えたいと思います

平成30年4月1日に施行された『立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちを作る条例』が形だけでなく生きた条例となるためには、未来を担う若者たちの力が必要です。

若者も、自称わかもの(・_・;)の皆さんも、障害にかかわる人も、かかわらない人もたくさんのご参加をお待ちしております。



日時 令和元年8月22日(木)

入場無料

9:30～11:45 (9:15受付)

会場 柴崎学習館ホール (B1)

住所 立川市柴崎町2-15-8 ☎042-524-2773

アクセス 立川駅南口 徒歩9分

多摩都市モノレール立川南駅 徒歩8分

内容 第1部 ★シンポジウム

コーディネーター 吉川かおり氏

(明星大学人文学部実践学科教授、

立川市障害を理由とする差別解消推進まちづくり協議会委員長)

パネラー予定者 視覚障害のある20代の若者

車イスユーザーの10代高校生と大学生

第2部 ★参加者との意見交換

お問合せ先 tachikawa.kangaeru@gmail.com

※参加の事前申し込みは必要ありません。

主催 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会

後援 立川市社会福祉協議会 (申請予定)

立川市 (申請予定)

このシンポジウムは、立川市における障害及び障害のある人に対する理解を促進するために行われる取組みです。

主催する「障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会」は、市民一人ひとりの権利を大切にできる地域社会を目指し、平成21年より活動を行っています。現在、障害の種別を越えて集まった22団体・個人会員で構成されています。

平成31年度参加団体

NPO 法人自立生活センター・立川/立川精神障害者家族会（麦の会）/立川市肢体不自由児者父母の会たつこの/立川市手をつなぐ親の会/在宅障害者の保障を考える会/中途失聴・難聴者「つばさの会」立川/高次脳機能障害の会・スマイル立川/社会福祉法人幹福社会/社会福祉法人すみれ会/ヘルプ協会たちかわ/NPO 法人多摩在宅支援センター円/NPO 法人立川マック/NPO 法人ゆるら/NPO 法人こらそん/NPO 法人柿の木ネット/たちかわ精神障害者支援団体連絡会（たちせいれん）/一般社団法人ウィングネットワーク/けやきの会/NPO 法人トモニ/立川手話サークル連絡会/立川市聴覚障害者協会/

キラリっ子ファミリーカフェ